

祝

一般県道徳光・鯖江線

榎坂トンネル開通式



福井県

概 要

一般県道徳光・鯖江線は、越前の名山として古歌に「越にては、富士とやいはん角原の文殊嶽の雪のあけぼの」と詠まれる文殊山の山麓を通り、古くは文明年間（1467～1487年）頃、朝倉孝景が一乗谷に館を構えてより朝倉街道として賑った主要な道筋であった。

本路線は福井市徳光町を起点とし鯖江市水落町に至る10.9kmの一般県道であるが、このうち福井市西袋町から鯖江市大正寺町間の交通不能を解消する為、昭和50年度から福井市西袋町より事業化が認められ、道路改良を推進し、昭和62年度に開通した。

この道路の完成により福井市と鯖江市を結ぶルートが国道8号線の東側に、榎坂トンネル、戸ノロトンネル、金谷トンネルと等間隔に並ぶこととなり、今後両地域の経済、文化、生活、環境の向上など、総合的発展に寄与するものと期待されている。

事業概要

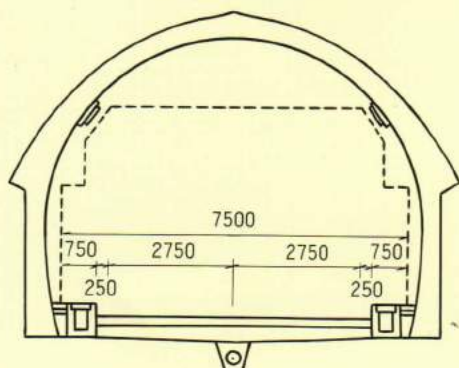
路線名	一般県道徳光・鯖江線
地係	福井県福井市西袋町 福井県鯖江市大正寺町
全体計画	事業費 1,433百万円
	取付道路(福井側) 189百万円
	取付道路(鯖江側) 100百万円
	トンネル部 1,144百万円
	工事延長 2,050m
	取付道路(福井側) 783m
	取付道路(鯖江側) 650m
	トンネル部 617m
施工期間	昭和50年度～昭和62年度

工事概要

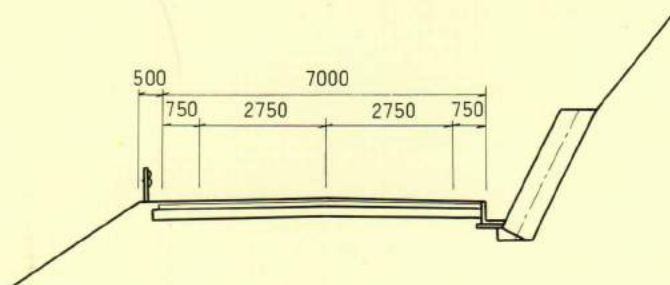
道路構造規格	
道路区分	第3種4級
最小曲線半径	60m
設計速度	40km/h
最急縦断勾配	7%

標準横断面図

トンネル部



道路部



榎坂の伝説

榎坂の榎は有名な古木で、幹周 4.8メートル、高さ 24メートル、枝振り25メートルある。あたかも日像上人(日蓮上人の高弟)が題目を自刻した霊石に手向けたようにはえている。600年来この峠の頂上にそびえ、今もなお繁茂している。この木の中央のまたの所に小石を投げて止まると、縁起がよいという。むかし明智光秀が、仕えていた朝倉家を辞して上京するとき、この榎の下で夫婦別れをしたが、そのとき投げた石が、またに止まったので、出世する前兆と喜んだのに始まるという。

現在、福井市東大味町には、人々に明智様と呼ばれているほこら祠と墓がある。

杉原丈夫 編「越前若狭の伝説」より



榎坂峠



明智光秀の祠と墓